

News Release

2021年11月25日
NITE (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構



毎年100件以上発生 ～ストーブ・ファンヒーターの事故に注意！！～

1. 事故の発生状況

2016年から2020年までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）においてストーブ・ファンヒーターに関する事故は19件^{※2}ありました。

(1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 ストーブ・ファンヒーターの事故の県別年度別事故発生件数（2016～2020年）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2016年		0	0	1	1
2017年		3	1	2	6
2018年		3	1	1	5
2019年		1	0	0	1
2020年		1	5	0	6
合 計	事故件数	8	7	4	19
	火災件数	[7]	[6]	[4]	[17]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表2）

表2 ストーブ・ファンヒーターの事故の県別被害状況別事故発生件数（2016～2020年）^{※3}

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	1	0	1	2
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	1	1	0	2
物的被害	拡大被害	5	4	2	11
	製品破損	1	2	1	4
被害なし		0	0	0	0
合 計		8	7	4	19

(※3) 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. ストーブ・ファンヒーターの主な製品事故事例

①石油ストーブにガソリンを誤給油したため火災に至った事故

・2019年1月（石川県、男性、80歳代、拡大被害）

【事故の内容】

石油ストーブの点火動作を繰り返していたところ、異常燃焼し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

石油ストーブのカートリッジタンク内に残留していた油からガソリン成分が検出されたことから、被害者がガソリンを誤給油したため、点火動作時の火種が油受皿やしんから揮発したガソリンに引火し、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されていた。

②オイルヒーターの製造時の不具合により発煙に至った事故

・2017年4月（富山県、女性、年齢不明、製品破損）

【事故の内容】

オイルヒーターから発煙した。

【事故の原因】

内部配線の電源コードとファストン端子とのカシメ接続部で、製造時に不具合があったため、カシメ部で断線して異常発熱し、絶縁被覆が焼損したものと考えられる。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 樋口、塚谷

電話：076-231-0435

以上